

よ う こ そ

第 45 号

浄土真宗本願寺派

円 光 寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL097-527-6916

FAX097-527-6949



あんのん館 十周年です



(上) あんのん館の活動のようす

- ① ご法話お聴聞の会
- ② 円成会誕生会のスピーチ
- ③ 手作り作業のお手伝い
- ④ 健康体操でいい汗かきます

(左) お茶とおしゃべりタイムで健康づくり教室のメンバーです (6月12日)

健康教室という仏さまの縁

毎月第二第四水曜日の二回あんのん館で健康づくり教室を開いています。毎回一時間半のプログラムで簡単なゲームを交えた体操をします。

あんのん館ができて間もなくご門徒さんから健康教室の提案がありました。大分市の「健康ネットワーク」健康づくり応援団の活動の一環で健康推進員の方がリーダーとして指導してくださっています。会員の中から二人の健康推進員も誕生しお互いに協力し合って会の運営をはかっています。おかげさまで九年続いています。

あんのん館は常時机とイスを設置して法話会などのお寺の会ができるようにしていますが、健康教室は机やイスを片付け各自マットを使っています。その間ご本尊をご安置するお仏壇はお扉を閉め終了後元の状態に戻してお扉を開けます。

ご門徒の方だけではなく地域の方も参加しています。仏さまをご安置する仏間を使わせていただくことで、それぞれが仏さまに手を合わせお礼をさせていただける有難さを感じます。

心も体も健やかに安らぐ仏さまのご縁です。皆さんそのお気持ち一つにこれまで長く続けてこられたと思います。

あんのん館ができて十年になります。空調の整ったこじんまりした空間で少人数のお互いに顔が見える関係で共々にお念仏のご縁に遇わせていただきます。

お坊さんが一方的にお話するのではなく、ご門徒さんも一緒に本を読んだり仏事の疑問質問に答えたり話し合ったりしています。

「私たちのあんのん館」の思いを一人一人がもってこれからも一緒に過ごさせていただきますように。

お寺の本堂阿弥陀さまの御尊前でお葬儀をさせていただきます

お寺指定の葬儀社に入っても
らい、ご本尊(阿弥陀如来さま)
を中心にシンプルでベストなお
莊厳のもと円光寺でご門徒有縁
の方のお葬儀をお勤めさせてい
たできます。

提案①

ご本尊を中心に、お家で臨終
勤行、あんのん館でお通夜、本
堂でお葬儀をお勤めします。

これは基本的なモデルケース
で、個々のお家のご事情で個別
対応も可能です。

提案②

お寺が主体となり葬儀執行さ



あんのん館での通夜勤行のようす
イス席で約40人収容できます

せていただきます。

なお葬儀に関する業務はお寺
の指定葬儀社に任せます。

提案③

葬儀に関する必要な経費は指
定葬儀社と相談して一定金額を
決めさせていただきます。

会葬御礼並びに御斎等食事に
関する経費などは含まれません。

提案④

本堂会館莊嚴費・使用料等冥
加金を定め「円光寺護持資金会
計」に収納し、これからのお寺
の護持運営資金と致します。

なお個々のお家のご事情で一
律にいかないこともあり、お寺
からの具体的な提案も含めて今

第5回ようこそ大分まちなか法話会

テーマ 「仏法に聞く、人生の終い方」

講師 藤井邦麿 師(日出町正善寺様)

田畑正久 師(宇佐市佐藤第二病院院長)

とき 8月29日(木) 午後1時〜4時

ところ 大分市コンパルホール(四〇〇会議室)



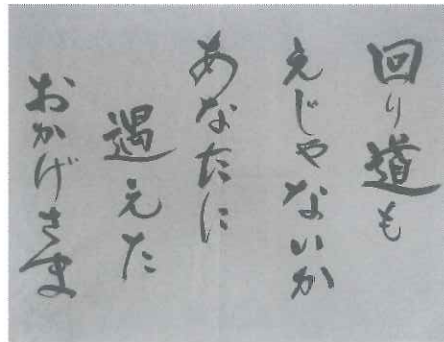
円光寺本堂でのお葬儀のお莊嚴です
ご本尊を中心に外陣前方
右に棺を左に法名遺影をご安置します

世々生々

ノープラ生活というプ
ラスチック(以下プラ)製
品をなるべく使わない生
活だ。改めてプラだらけ
の私たちの生活ぶりが指
摘される◆レジ袋の完全
有料化を日本が世界に宣言する
という。日本はアメリカに次ぐ
プラごみ排出大国で幾多のプラ
製品がゴミになっている。プラ
ごみの問題は今や深刻な地球環
境問題になっておりプラごみの
不法投棄は海洋汚染となって海
洋生物形態をも侵しかねない深
刻な事態だ◆日本の排出プラご
みを海外に輸出している現状が
ある。最大の輸出国だった中国
が輸入を禁止し今は東南アジア
諸国がその輸出先になっている。
先進国のごみを請け負うことで、
経済格差の象徴だ◆私たちが普
段使っているプラの後始末だ。
今はプラごみの種分けは当たり
前だが、再利用となると難しく
焼却処分すれば有害物質が発生
し地球温暖化に直結する◆そこ
で私にできること、ノープラ生
活である。全くプラのない生活
は昔に戻れということに等しい。
ならば私のなかでの取捨選択だ。
お念仏申す生活の実践、仏さま
のお心にかなうかなわなないか、
お念仏申されやすい生活を一つ
一つさせていこう。



掲示伝道のことばより



2月のことば
「回り道もえじやないか
あなたに 出会えたおかげさま」

受験シーズンです。この時期受験生は大変な思いで日暮しされていくことでしょう。振り返り見れば私たちの人生は受験をはじめさまざまな進路選択の連続です。二月のことばは「回り道もえじやないか あなたに 出会えた おかげさま」です。

人生の岐路に立ち右に行こうか左に行こうかそれとも戸惑う中に不安を覚える私です。それで結果自分の思い通りにならないことにぶち当たり、何か回り道をしているような人に後れを取っているような大きな不安から一層迷いが深まります。私が歩むこの道は一つ道です。

この道で人との出会いがありません。この道だからこそあなたのとの出会いです。ご縁としかいえないような不思議な出逢いであります。あなたに遇えたこの道は私が独り歩く道ではなくあなたと一緒に歩ける道でした。私の人生この道は後戻りできないやり直しはできません。でもあなたに遇えてよかったおかげさまと見直し喜んでいけるのです。

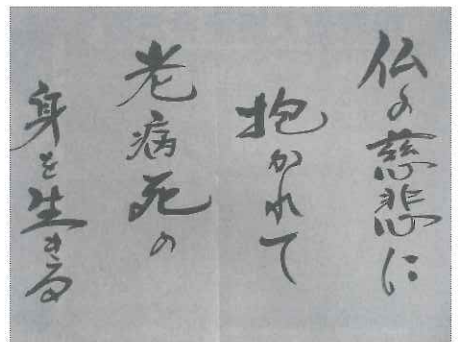
あみだくじです。出発点から線が次々あつてゴール目指して進んでいきます。私たちの人生もあみだくじのようなもので、まっすぐ行こうと思ったら突然横棒が入り左右どちらかに行かねばなりません。そしてまた同じことの繰り返しを続けます。

あみだくじのあみだは阿弥陀如来のこと、元来放物線上のくじだったそうで阿弥陀さまの後光に由来するといわれます。阿弥陀九字の南無不可思議光如来のお名号のおはたらきです。

迷う私をそのまま必ず救うと撰取の光明におさめとられて浄土への道を安心して生きて往けると聞かせていただきます。

(1月31日)

お朝事にお参りしましょう
△毎朝6時30分～7時▽



3月のことば
「仏の慈悲に抱かれて
老病死の身を生きる」

著名人のがんの公表が続いています。がんというすとぐ死を連想される方も多く注目されます。また著名人が亡くなると新聞にお悔やみ記事が載ります。そこには死亡原因がよく書かれてあります。例えば大腸がんで亡くなったとか、脳梗塞とか肺炎とかです。

ただ誰でもみんなこの世に生まれて来たから死んで行くのです。私たちはこれまでに何度か何度か生まれては死にと生死を繰り返して、このたびはこの人間界に生まれて来たといふ説話聞かれます。そしてこれからは生死の世界を迷い経巡って苦しみ悩んでいくといふのです。

誰でも必ず死ぬことは知っています。老いたくないと思っても日々老いていきます。病気になるときは病気になるのです。

今月の言葉「仏の慈悲に抱かれて老病死の身を生きる」です。いつまでも若くありたい健康でいたい死にたくないと思う私が老病死のわが身の事実にあつて悩み苦しみます。

闘病といえます。病に向き合う気持ちは本心に尊く大事です。耐えることもできません。しかしどんなに頑張っても必ず命終える身であることに変わりありません。

仏さまは病と共に老いと共に生きることを教えてください。老病死の苦悩のわが身をそのまま引き受け「必ず救うまかせよ」と南無阿弥陀仏のお喚び声となつていつでもどこでも私に寄り添いご一緒くださるです。

ナンマンダブツとお念仏を申して死んでいけるのです。死んで往くところがあるということ。死んだらお終いではありません。迷いを離れて阿弥陀さまのお浄土に生き生まれまされとりの仏にさせていただけると往生浄土の南無阿弥陀仏のみ教えを聞かせていただきます。

(3月10日)

円光寺ホームページで
△お念仏申す生活法話▽
お朝事「法話」を
日々更新しています

仏教壮年会総会



お寺の行事活動の大きな力になってくださる頼もしい皆さんです (2月10日)

新春初法座



寺族総代世話人 仏婦仏壮役員勢揃いで新年のスタートです (1月2日)



本山御正忌報恩講参拝 門徒有志で思い立ち弾丸フェリーでお参りました (1月14日)

春季彼岸法要



菅原泰宣師(安心院町観源寺様)に 仏さまのお話をやさしく お取り次ぎいただきました (3月20日)



子ども会水曜学校修了式 6年生に修了証を授与し、みんなにメダルをあげました (3月13日)



仏教婦人会日帰り旅行 43名が参加して四日市別院参拝、千財農園藤の花見を楽しみました (4月25日)

親鸞聖人降誕会法要



午前中初参式とバザーを行い午後には佐藤るり師(日田市光明寺様)にご法話をいただきました (5月19日)



第2回花まつりコンサート バイオリンとキーボードの演奏に 素敵な時間を過ごしました (4月7日)

花まつりの会



お寺の周辺を白象パレードし みんなでお釈迦さまのご誕生をお祝いました (4月7日)

「いつしよにいこうえく」 お念仏の道を共々にご一緒しましょう!

ようこそあなたと 南無阿彌陀仏

あ と が き

四月一日新元号が発表され五月一日新天皇即位に伴い令和の時代になった。昭和天皇崩御に伴う平成の幕開けは自粛ムード漂う暗いものだった。一方今回は日本列島のあちこちで祝賀行事が催され十連休の中お祭り騒ぎとなった。時代の変遷は世の流れ、ただわが身のことは昨日から今日明日と劇的に変わることなく今ここの私を生きることに変わりはない。誰も代わってくれない我が身をしっかりと引き受けて共に一緒にして下さる仏さまのお念仏を南無阿彌陀仏とお念仏申すなかに聞かせていただく有難き尊さを思う。



前役員さん(前列)ありがとうございました 新役員さん(後列)よろしく致します (5月18日)

仏教婦人会の役員が 替わりました